

令和4年度 1人1台端末の活用による実践事例

学 校 名		岡山県立高梁城南高等学校		
実践者等		水川 敬介	実践日	令和4年5月20日
実践場面 (教科・科目(単元名)、学校行事等)		保健(生活習慣病の予防と回復)		
対象生徒(学年等)		デザイン科1年		
育成を目指す資質・能力		☒ 知識・技能 ☒ 思考力・判断力・表現力等 ☒ 学びに向かう力・人間性等		
分類	授 業 中	☒ クラウドやアプリの活用 ☐ デジタルデータの保存 ☒ 思考やデータの可視化		
		☒ データの共有や共同編集 ☒ 対話を充実させる活用 ☒ 思考を促す活用		
		☒ 表現を充実させる活用 ☐ 課題のやり取りと評価の支援 ☐ 効率化や省力化		
		☐ その他()		
	家庭学習	☐ 振り返り ☒ 探究 ☐ 反転学習 ☐ 補習・定着		
実践の内容				
【授業】 (1) 調べ学習 各自の端末を使って、グループに割り当てられた生活習慣病の詳細について調べ、Jamboardにテキストボックスで貼る。 (2) ジグソー法 各グループから1人ずつ集まり、新たなグループを形成。その中で各グループで調べた内容についてJamboardを見せながら説明する。 (3) まとめ 全体の内容を見て、教員が生活習慣病についての解説を加える。   				
【本時と家庭学習との連動】 (本時前) 事前に各自で生活習慣病について調べさせておくことで、授業をさらに深める時間とすることができる。				